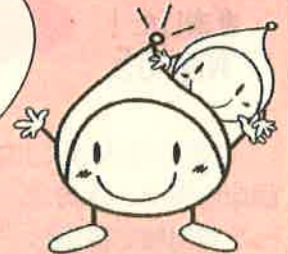


# ささえ

夢のコミュニ  
ティカフェを実現  
しませんか？



エールくんとミニさぼちゃん

奇数月発行

## あたらしいな！ <sup>こんな</sup>地域にコミュニティカフェ

コミュニティカフェとは、地域(小学校区程度)の人が気軽に立ち寄れる地域住民の「居場所」となっているところです。高齢者の集うところであったり、子育て世代の親の集うところであったり、誰でもいつでも立ち寄って情報交換ができる場所で、それぞれの目的に合ったコミュニティカフェが必要だと言われています。このような人のつながりは孤立した人々を救い、いざ災害に遭

ってもお互いを支え合うことができるはずです。

では、なぜ今、「地域の居場所」が必要なのでしょう  
か。

核家族が増え、共働きが増え、家族のつながりや地域のつながりが少なくなっている今、日中一人の高齢者や子育て世代のお母さん等の「居場所」は「情報交換の場」として「人々の絆」を強くするからです。

コミュニティハウス“絆”(こんなハウスがあたらしいな)

<p>ふれあい交流サロン</p> <p>絆カフェ</p>	<p>地域の講座開催 全域のイベント・観光案内 インフォメーション</p>	<p>市民による小さなお店</p> <p>〇〇円/月で契約</p>	<p>お土産品展示 インターネット コーナー</p>
------------------------------	---	-----------------------------------	------------------------------------

### 「コミュニティカフェで地域交流しませんか？」

- とき 2013年9月7日(土) 13:30~16:00
- ところ 岩国市周東中央公民館 講堂 ●参加費 100円(お茶代)
- 講師 藤本 まり子(まちづかい塾代表) 山崎 学(カフェテラス倶楽部 代表)
- 内容 地域住民が気軽に立ち寄れる「コミュニティカフェ」(地域の人々が集まれる場所)の作り方のノウハウを学ぶ。「青空カフェ」「絵本カフェ」を実践されている講師2人を招き、実際にコミュニティカフェを体験していただく講座。



### 「地域の縁側“コミュニティカフェ”の作り方」

- とき 2013年10月5日(土) 13:30~16:00
- ところ 岩国市民会館 小ホール ●参加費 無料
- 講師 世古 一穂さん(NPO研修。情報センター代表理事)
- 内容 高齢化が進んでいる中山間地域。災害がたびたび発生している昨今。いざというときあなたは近所の人を助けられますか？常日頃から地域住民の情報交換が必要となります。地域の居場所である「コミュニティカフェ」の全国事例を聞きながら、設立、運営、手法を学びませんか？

地域の助け合いだニャ!



取材に行っ  
てきました！  
No. 65

## あなたの困ったを支援しています！ 「NPO 法人 はぐ」

「NPO 法人はぐ」は平成24年に設立し、社会福祉士、臨床心理士、保育士、介護支援専門員、音楽療法士といった専門職で運営しています。

赤ちゃんから高齢者まで、年齢、障がいに関係なく、ソーシャルワーカーがお話を伺い、どんな相談にも応えられるよう、必要な支援を必要なだけ受けられるよう心がけておられます。

たとえば、かぎっ子支援として放課後学童教室を、障がいをお持ちのお子さんの居場所として放課後サービスを行い、音楽療法士による音楽療法や保育士による体幹訓練や生活動作訓練等を行っています。

特に不登校や引きこもりといった心に働きかける支援を必要とする時には、臨床心理士によるカウンセリングや箱庭療法を行います。コミュニケーションが苦手とする子どもにはSST（ソーシャルスキルトレーニング）を定期的に行っています。

「NPO 法人はぐ」は7月28日（日）、ニッセイ財団より助成してもらった「サイバーホイール」と「ブロックモジュール」を地域の子どもたちにも活用してもらいたいと「いっしょにあ・そ・ぼ」を企画しました。

「サイバーホイール」はほかの施設にはなく、360度回転遊びで、全身の血行が良くなり、脳の働きも活発になるという効果があります。でんぐり返しや転がる遊びが少なくなった現代、全身のバランス感覚と筋肉を呼び覚ますための遊具です。

「ブロックモジュール」は子どもが工夫しながら多様な動きを体験できる大きなブロック遊びです。のぼる、おりる、くぐるなど子どもの成長に必要な様々な動きを引き出す遊びです。参加した子どもたちは全身で楽しんでいました。



SST  
による文字遊び  
の様子

週一回のSSTと週一回の放課後学習教室に通っているというお母さんは、「SSTに参加していることで子どもの自立心が身に付き、協調性も出てきました。宿題もきちんと見てもらえるし、楽しく通っています。」と喜



「サイバーホイール」  
で遊ぶ子供たち

理事長の大野さん（写真上）は「悩みを抱える青少年等の地域における生活を支援し、年齢、障がいの有無に関係なく、一緒に遊んだり、学習することでお互いを尊重しながら成長できるように、楽しく集える場所の提供をしています。」ということでした。「誰もが住み慣れた街で、顔なじみの人と、その人らしい生活ができる、そんな岩国でありたい。」と願っておられます。

その他、会員制で、一人住まいの高齢者の病院や買物の同行支援、一週間に一回の安否確認、お話し相手、介護保険でできないサービスも行っています。

午後からは臨床心理士によるSST「友だちと遊ぼう！」がありました。文字を書いたストローを一本ずつ持ち、グループに分かれ、お互いの持っている文字を組み合わせて単語を作るという作業です。自分や相手の意見や考えを伝えあい、単語を作ってグループ発表しました。SSTはおしゃべりやコミュニケーションが苦手な子ども達がトレーニングによって「前に出る」「自信をつける」「ゆずる」気持ちが育つなど、コミュニケーション力が身に付くようです。

次に音楽療法士による「音と遊ぼう！」がありました。歌いながらじゃんけんしたり、足でじゃんけんしたり、「歌う」ことと「頭を使う」ことを同時に行う遊びをしました。また、絵本の読み聞かせに楽器を使い、効果音で子どもたちは絵本の世界に夢中になりました。



楽器使いながら  
絵本を  
読んで  
いる  
様子



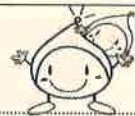
んでおられました。  
このように、専門の知識を持ったスタッフは「一人でもたくさんの笑顔に出会えること！これが私たちの喜びです。」と話されていました。（柳原）

### ●お問い合わせ●

NPO 法人 はぐ 大野 みどりさん  
電話 0827-35-4224



## 市民活動団体の活動報告



### 気をつけよう！悪質商法

岩国地域では悪質な振込詐欺の被害が多いようです。

#### 振込詐欺に合わないためのワンポイントアドバイス

- ①突然、消防署や市役所や有名企業の社員等のふりをして、商品やサービスを契約させようとした場合、その場では決して契約しない。玄関に入れない。景品や商品を配ったり、アンケートの協力をお願いする場合もある。
- ②電話勧誘販売されそうになったら「契約しません」ときっぱり断る。8日間以内であれば契約を解除できる。
- ③注文していない商品を一方的に送りつけ、代金を請求した場合、消費生活センターや警察に相談する。
- ④認知症の家族に次々に契約させる場合、見慣れない商品や不審な契約がないか家族が気をつける。
- ⑤キャッシュレス社会が加速する中で、カードを紛失した場合、すぐにクレジット会社や銀行に連絡する。

平成 25 年度 消費者啓発標語「ありますか？正しい知識と断る勇氣」

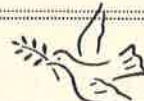
●問合せ 岩国消費生活センター 相談室 TEL&FAX 0827-22-1157

### 原爆被害の体験を後世につなぐ活動

平成 25 年 8 月 1 日～15 日の 13 日間、ふれあい交流館西岩国で第 3 回「ミニ原爆展」が開催されました。今年は体験を後世につなぐため、学童疎開の様子や原爆が落とされた広島の様状、負傷者を看護した体験などを話し、平和の大切さを伝えておられました。

また、体験を後世に繋ぐため、市内の小中学校での被爆体験の語り部を行っています。平和の大切さ、命の尊さを子ども達の記憶に刻んで、また次の世代へと平和の心を繋げてほしいと思います。

●問合せ 岩国市原爆被害者の会 TEL 0827-24-1341



岩国原爆被爆者の会山田さ  
たんによる当時の様子を表し  
た絵



### ご存知ですか？！学校図書館

平成 25 年 8 月 21 日～31 日の 10 日間、岩国市中央図書館 1 階展示ホールにて、「学校図書館パネル展」が開催されました。学校図書館に司書教諭だけでなく、司書資格を持つ学校司書を 1 校専任で配置し、学校図書館の円滑な運営を支え、さまざまな職務を日常的に担うとともに、適切な資料提供によって児童生徒の学習を支えようという活動です。

### わくわく講座

今回の展示に合わせ、8 月 24 日(土)、同 2 階講座室にて、わくわく講座『図書室を図書館にするために取り組んできたことと、その課題』も開催されました。講師は周南市富田西小学校の学校図書館司書、河村京子さんです。河村さんは、図書室の管理運営はもちろん、児童へ書籍や資料の使い方の手ほどきや、児童がより読書を楽しめるような取り組みなど、専門性を生かした活動を行っています。また、教師と連携し、授業の進み具合に合わせた最適な資料を提供することで、深く広がりのある授業を行うことに一役買っています。

●問合せ 学校図書館を考える会・岩国

#### 学校図書館パネル展 —ご存知ですか？！学校図書館—

## 支援センターからのお知らせ

### 第2回 登録団体交流会 & 市民活動カフェ2014企画会議

- と き 2013 年 9 月 21 日 (土)  
13:30～16:00
- と ころ 岩国市中央公民館 集会場
- 参加費 無料
- 内 容

現在登録団体 85 団体が一堂に集まり、ネットワークを結ぶため、お互いの活動を理解し、交流する場です。また、市民活動カフェをみんなで考える企画会議も開催されます。一般の方も参加して市民活動団体のことを知りましょう！



### 市民活動カフェ2014 H26 年 1 月 26 日開催！

- と き 2014 年 1 月 26 日 (日)  
10:00～15:00
- と ころ 岩国市民会館 全館
- 内 容 市民活動団体約 40 団体による活動発表、パネル展示、作品販売、DVD 上映、おもちゃ交換広場等



●問合せ●

いわくに市民活動支援センター  
TEL 0827-44-0288



## 助成金ニュース

①内容、対象 ②助成金額、件数 ③締切 ④問合せ先  
\*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

### 平成 25 年度追加募集 岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金

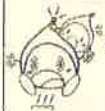
- ①市民活動団体等が実施する公益事業に対し、経費の一部を市が交付金として交付。
- ②交付対象経費の3分の2で30万円が上限 ③平成25年9月20日(金)
- ④岩国市役所 市民協働推進課 TEL:0827-29-5015 FAX:0827-22-2866  
E-mail:kyoudou@city.iwakuni.lg.jp  
URL:http://www.city.iwakuni.lg.jp/www/contents/1333010917609/index.html

### 第8回 コープやまぐち女性いきいき大賞

- ①住民参加による住みやすい地域社会づくりと、男女共同参画社会づくりを願って、その内容にふさわしい、コミュニティ活動やボランティア活動等に女性が中心となってチャレンジする団体を表彰し応援し、そうした活動が広まることを期待する。山口県内で自主的な活動を行い、創意と工夫に富んだ活動を対象。
- ②副賞として10~30万円 ③平成25年9月30日(月)
- ④生活協同組合コープやまぐち 女性いきいき大賞事務局 TEL:083-995-3607  
E-mail:info@yamaguchi.coop URL:http://www.yamaguti-coop.or.jp/about/ikiiki/index.html

### 子どもたちの“こころを育む活動”大募集

- ①学校と関わりながら、地域、家庭、企業などいろいろな立場の人がともにおこなう活動。学校、NPO 団体、PTA などの団体。団体が行う子どもたちの“こころを育む活動”で、進める工夫・広める工夫・続ける工夫があるもの。 ②全国大賞100万円(1件) / 優秀賞30万円(数件) ③平成25年9月30日(月)
- ④「こころを育む総合フォーラム」全国運動 事務局 TEL:03-5521-6100  
FAX:03-5521-6200 URL:http://www.kokoro-forum.jp/project\_kokoro/



## 岩国のへえ〜 56の巻

### 岩国藩の剣術師範 片山伯耆守久安(かやまのけし久安)

「伯耆流」といえば、剣の道を志す人なら、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。岩国では、「片山流」の呼称の方がなじみがあるかもしれません。

伯耆流居合の流祖である久安は、天正3年(1575年)、紀州(和歌山)に生まれました。養父である伯父の松庵について幼い頃から、居合を学びました。その後、京都の愛宕神社で「貫」の一字を悟り、流儀を開いたと言われています。その後、関白・豊臣秀次、右大臣・豊臣秀頼に剣の指導をします。やがて、その名声は高まり、時の帝・後陽成天皇の御前で剣の腕前を披露し、その際、従五位下・伯耆守に叙任されたと伝えられています。

元和元年(1615年)、豊臣家が大阪夏の陣で滅びると、久安は流浪の旅に出て、周防の岩国にとどまります。岩国藩主・吉川広家は久安を、客人として迎えます。そして、長男の広正や藩士の剣の師範として尽力しました。片山家は岩国藩の剣術師範として、廃藩まで長きに渡り仕えました。

慶安3年(1650年)3月7日、岩国の地で76歳の生涯を閉じました。

(参考資料:豊臣家吉川家指南伯耆流柔術秘伝絵巻/松村 久)

## 編集後記

8月23日(金)19時より、岩国市中央公民館3階第2講座室にて、市民活動カフェ2014の実行委員会を開催しました。まだまだ残暑が続く中、17団体21名の方々にご参加いただきました。

参加者のみなさんと会議を進めていく中で、様々な面白いアイデアや興味深い意見が飛び交い、大変有意義な時間となりました。来年1月の開催に向け、期待は高まるばかりです。

そろそろ気候も良くなり、過ごしやすい時期になります。それに合わせ、みなさんと一緒にこれからの活動を盛り上げていきたいと思っております。(岡本)

### 支援センター利用状況(7、8月)

・印刷、コピー、大判プリンター	196件
・相談	61件
・登録団体数	85団体(のべ数)

### 発行: いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国4-4-15  
(岩国市中央公民館3階)  
TEL 0827-44-0288 FAX 0827-44-0324  
E-mail:shien@sky.icn-tv.ne.jp  
http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~shien/